

## 平成 27 年度 朝陽公民館運営審議会 概要

- 1 日 時 平成 27 年 7 月 16 日 (木) 午後 1 時 30 分～3 時 40 分
- 2 場 所 朝陽公民館 大会議室
- 3 出席者 運営審議会委員 9 名 事務局 2 名 傍聴者 なし
- 4 諮問事項

- (1) 平成 26 年度 朝陽公民館事業報告について
- (2) 平成 27 年度 朝陽公民館運営基本方針(案)について
- (3) 平成 27 年度 朝陽公民館事業計画(案)について
- (4) その他

### 5 議事概要

#### (1) 平成 26 年度 朝陽公民館事業報告について

委 員:「寺子屋あさひ」について、児童センター、子どもプラザと共催のものはそれぞれの登録者のみが対象か？

事 務 局:登録者のみを対象としている。それ以外の「フリーデー」と「英語でクッキング」は登録者以外でも良いので地区内回覧で知らせている。

委 員:せっかく共催するのだから、児童センター、子どもプラザで普段していることと同じ事をしても意味が無い。違いを出す必要がある。

事 務 局:昨年度は新聞紙で型紙を作り、にんじんケーキを焼いた。ケーキ作りをしていないグループは体育館で遊んだりしている。

委 員:講座によっては指導者自身が高齢化している場合がある。講座の継続という観点から後継者についても考える必要があるのでは？

委 員:講師養成用の講座開設も必要かもしれない。

事 務 局:講座の打ち合わせをする際に、後継者についても確認してみる。

委 員:「かるかむ広場」の事業目的は実現できているのか？かるかむ広場の子育て推進事業と「あさひっ子教室」との違いは何か？

委 員:わらべうたは 0～1 歳とあさひっ子より幼い子を対象としている。あさひっ子に参加できるくらいの年齢だと園開放等の取り組みがあるが、0～1 歳だと行くところが少ないので貴重な講座である。

事 務 局:かるかむ広場の目的は「公民館開放」と「地域リーダー養成」であるが、事前申込無しで気軽に参加できるという意味で公民館開放という目的は実現できていると考える。地域リーダー養成については実現が難しい目的ではあるが、これについては運営基本方針(案)で説明させていただく。

#### (2) 平成 27 年度 朝陽公民館運営基本方針(案)について

委 員:運営方針に「地域における人材発掘・育成の体制整備」とあるが、これはなかなか難しい問題だ。公民館の役割としてここまで掲げる必要はあるのか？

事 務 局:長野市生涯学習推進計画においても「学習指導者の養成」は課題・取組として挙げられており、公民館の役割から外すことはできない。ただ、人材発掘・育成は実際に難しい問題であるので、27 年度においては重点目標の(3)に掲げたように、来館

者との話から「誰かに教えて欲しい」という情報を得て、公民館でそれを教えられる人を探し紹介するという、マッチングに取り組みたいと考えている。いきなり講師として大勢を相手に指導してもらうのではなく、まずは自分の持っている知識・技能を必要とする誰かがいるということを知ってもらうことがスタートだと考える。

委員：地域における人のつながりを作ることも公民館の重要な役割である。このつながりを作る方法の1つが人材育成であり人脈づくりだと思う。

事務局：長野市には「長野市生涯学習リーダーバンク」というものがあるが、朝陽地区で生まれたニーズはまず朝陽地区内で解決し、それにより朝陽地区内のつながりが強まる。そんな流れを作れたら良いと考えている。

委員：地区の公会堂で行う講座には近いので行けるが、それを朝陽公民館で行うと遠くて行けなくなる場合もでてくる。

事務局：地域公民館で行っている講座を朝陽公民館へ移して実施するという事は考えていない。

委員：地域公民館での活動をもっと知るためにも、地域公民館との交流も重要だ。

委員：「できる」人が全て「教えられる」訳ではないので、人材育成は本当に難しい問題だ。

### (3) 平成 26 度朝陽公民館事業計画について

委員：オープンギャラリーは全く利用されていない状況から新たな取り組みを始めた事は良いと思うが、場所が2階の一番奥でありわざわざ見に来る人もいないと思う。もっと誰もが見られる場所へ展示してはどうか？

事務局：1階には展示に適した場所がない。突き当り通路の壁の有効利用という意味もあるし、一番奥に設置することにより公民館へ入った事が無い人が入る機会となれば良いと考える。

— 閉 会 —